



はちろうがた 2012年12月定例会 第114号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810

希望の光



国道7号線と商店街をむすぶ中央道



(写真提供 児玉 亮氏)

- ◆ 2ページ 新年のあいさつ
- ◆ 3ページ 12月定例会
- ◆ 4～7ページ 一般質問
- ◆ 8ページ 各常任委員会の審議
- ◆ 9ページ 議員発議・提出議案
- ◆ 10ページ 請願・陳情／議会のうごき



新年のあいさつ

八郎潟町議会議長

小野

廣



町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より町政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、八郎潟町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町議会では、一昨年より議会改革特別委員会を設置して議会に係わる諸課題について、協議を重ねてまいりました。また、町民の意向を反映させるため、全世帯による町民意識アンケート調査を実施し、町民の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただくことができました。

町民の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。お陰様をもちまして、平成24年3月議会において、議会基本条例の制定、議員報酬の削減などについて改革を行い、よりよい議会を目指していくことを決議した次第であります。

昨年末には、解散による衆議院選挙が実施され、自民党が過半数を大幅に超えて圧勝いたしました。今回の選挙では、消費税増税、原発、TPP、領土問題などさまざまな争点がありましたが、ある国民のアンケート調査で重視する政策はと問いかけたところ、「年金・福祉など社会保障」「震災復興」「消費税など税制改革」「雇用対策」「財政再建」などが挙げられております。そうした中で、

景気対策が根本であるという声が一番多かったそうです。新政権にはしっかりと舵取りとリーダーシップを取っていただきたいと思えます。

私たちの足元を見ると、基幹産業である農業の振興、商工業の活性化、住環境の整備、少子高齢化対策、教育の推進など、本町が抱える多くの課題が山積しております。景気はなかなか上向かず、とりわけ若者にとっては、働く場をどう確保するかが深刻な課題になっていきます。社会に閉塞感が漂う中、経済のパイを大きくし、雇用や税収を増やしていく経済の活性化策が強く求められています。

議会は二元代表制の下で、町長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、町民の福祉の向上および町政の発展に寄与していかなければなりません。

新たな年を迎え、私たち議員は八郎潟町6,500人余の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに町議会の活性化と改革に取り組み、八郎潟町を更に魅力ある「町」にするために全力を尽くしてまいります。

これからもご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げますとともに、町民各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年にあたってのあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

議長

小野 廣

副議長

三戸 留吉

議員

伊藤 秋雄

菊地 文人

金一 義

近藤 美喜雄

北嶋 賢子

村井 剛

佐藤 長

畠山 金美

(議席順)



12月 定例会

12月10日（月）～12日（水）の3日間定例会が開かれ、議員発議2議案、専決処分1議案、条例改正1議案、補正予算7議案、人事案件など2議案、合わせて13議案が上程され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決あるいは同意されました。

一般会計補正予算（第6号）

歳入、歳出それぞれ8,376万円を追加し、総額は26億2,791万4千円となりました。

農業体質強化基盤促進事業（全額国負担）5,609万9千円 農地の高度利用を推進（水田の区画拡大・暗渠整備）

《主なもの》

歳 入	保育園運営費国負担金	2,059千円
	児童手当国負担金	702千円
	農業体質強化基盤整備促進事業費国補助金	56,099千円
	社会資本整備総合交付金国補助金	9,750千円
	前年度繰越金	13,438千円
歳 出	総合行政情報システム保守委託料	543千円
	総合行政情報システム機器リース料	△ 4,149千円
	介護保険特別会計繰出金	7,504千円
	保育園運営費負担金 当初見込みより0歳児の入園が増えたため	4,061千円
	児童手当 出生見込み30人として追加	645千円
	後期高齢者医療特別会計保険基盤安定化繰出金	△ 2,235千円
	農業体質強化基盤整備促進事業費補助金	56,099千円
	町道整備工事 町道石川線の舗装工事（弁天球場付近）	15,200千円
	道路敷購入費 町道浦大町下町線	540千円
	物件移転補償費 町道浦大町下町線	625千円
	公共下水道事業特別会計繰出金	989千円
	あきたっ子グローバルびじょん事業（小・中）	114千円

一 般 質 問

豪雪による除排雪の 緊急優先順位は



畠山 金美
議員

除雪に関する会議録は残していない旨の答弁が委員会であったがその理由は。

町長 除雪の優先順位は国道や県道に連絡する

問 今年はず雪が多いとの気象予報が出されているが、あらかじめその不測の事態を想定した除雪優先順位が周知されていれば、大きな混乱や不安を最小限に抑えることができるのではないかと。そうした対応策を事前にオープンしておくべきかと思うが。

一級町道、役場など公共施設へ連絡する道路、生活道路、狹隘道路の順となっている。次に冬季除雪計画書の中で、除雪対策本部の設置基準は、新雪の積雪深が15cm以上で、尚且つ積雪が予想される場合に設置される。

例えば7号線までの主要道の優先順位は。役場までの主要道路の優先順位は。県道までの主要道路の優先順位は。

豪雪の際は町内会の協力を得て、排雪作業をお願いをする場合もあるのですが、その場合は町内会に対する費用の助成は必要だと考えている。

また、除雪対策本部設置を判断する基準は。

除雪会議については、本町の冬季交通除雪計画書に基づき、除排雪計画の概要、除雪基本方針、除排雪の注意事項など、町からの伝達事項なので会議記録は残していない。

町民からの小型除雪機への使用依頼が殺到した場合の対応は。

小型除雪機は、豪雪の場合は貸出を行わず、行政サイドによる除雪作業に活用していく。

除雪作業を見込んだ地域活性化助成金の上積みはないという考えに変わりはないか。

秋田県市町村未来づくり協働プログラム の骨子案の内容は

問 駅前開発については、箱ものをつくる内容になっているが、

・町民の日頃の実情や住民ニーズをどこまで把握しているのか。

・この町の将来ビジョンをどう見据えているのか。

・実現に当たっての課題は何か。その解決策を具体的に。

・事業に無駄がなく、コストを抑えてできる手法であるかについては。

町長 事業の構想とし



賑わい創出の核となるか

では、駅周辺を開発し、幅広い年齢層が利用できる施設を建設し、町の玄関口である駅周辺の整備を推進することにより、交流人口の拡大、商店街の活性化、農業振興を図る。構



耐震診断の結果はいかに

想の概要はまだ確定していないが、学習スペース、閲覧スペースを兼ね備えた図書館をメインとし、子育てを支援する親子ふれあいスペース、町民が余暇時間を楽しめるサークル室などの多目的施設の建設、また本町の伝統芸能、若者イベント等が開催できるイベント広場の建設、本町の特産品、農産物等が販売できる直売所の建設等である。

役場庁舎耐震診断の結果は

問 耐震か、新庁舎建設か大きな議論を巻き

町長 現在調査中の耐震診断結果はその信憑性について今月14日に秋田県耐震診断判定委員会の判定を受けることになっており、委託業務の完了日である25日までは耐震診断の調査結果をまとめた報告書が納品されることになる。耐震診断結果については来年1月中旬をめどに全員協議会を開催し、議会で報告する。

一 般 質 問

原子力発電所は直ちにゼロに



北嶋 賢子
議員

問 各々の政党も原発ゼロを言い出しました。生命が大事か、電気が大事か、と問われたら生命が大事に決まっています。福島県では、未だに16万人もの県民が。夫の故郷、富岡町でも1万5千人の町民が故郷に戻れずに避難生活を強いられています。燃料を燃やせば使用済み核燃料が出ます。核のゴミを地中深く埋めることは後々の世代にどの様に言い訳するのか。今年の暑い夏でも電力は間に合いました。原発は直ちにゼロにすべきと思いますが。

町長 原発事故は、今の段階では、事実の一部しか分からない状況で、今後、明らかになるにつれて、益々恐い物になると思う。原発は粗悪の対象となっているが、原発

ゼロか、どちらかだけでなく、今後の経過を踏まえて、ある程度の時間をかけた判断が必要と考える。

食糧基地として発信し、耕作放棄地の解消で被災地のこども達に、安心安全な野菜の供給を

問 福島県からのお客様10人が、とにかく安全な美味しい野菜が食べたいと、2t車のジュラルミントラックを従えて来ました。今や秋田の米と野菜は、安心安全の食糧基地となっています。福島県のおかさん達は、学校給食の食材を心配しています。運動不足から肥満になっているこども達に、安心安全な野菜を届けるルート作りを。耕作放棄地への野菜作りの働き手は、私達団塊世代がいます。

3年目。来年からは放棄状態だと転作面積にカウントされず、新たに転作しなければ戸別所得補償制度の対象外となる。町では内容の周知と改善に向けた取り組みをお願いしている。被災地への野菜の供給は、耕作放棄地が解消されたとしても、町全体の供給量からして安定的な野菜を届けるルート作りは難しいと思う。

五城目八郎潟インターから大潟橋へ、直通道路の早期実現へ

問 米と野菜を満載したトラックは、琴丘森岳インターから一路、避難先の郡山市へと帰って行きました。ややこしい道順を避けて、宿泊したサニールから、琴丘森岳インターにしました。かつて五城目八郎潟インターからの路線設計図が議会に示されたこともありましたが、そして、男鹿市、旧若美町、大潟村の

首長さん達から要望もありました。ここは早期実現の努力を。

町長 町もその重要性から、五城目八郎潟町県道整備促進期成同盟会と道村大川線改良整備促進期成同盟会に、国道7号から道村大川線までの

連絡道路整備促進として要望している。本線実現には、巨額の費用と多くの課題もあるが。地域の生活、産業道路、並びに男鹿国定公園への連絡道路としても、今後も早期実現に努めて参りたいと思っています。



インター方面7号線へ向けて

一 般 質 問

産業振興について



金 一義
議員



商店街に人通りが戻るには

問 本町の65歳以上人口の高齢化率も、32.8%と高く人口減少や少子化が進み益々空洞化が進み、町そのものが沈下しています。そのためにも産業振興が大きな課題になります。

町長 商店街の創意工夫や積極的な呼び込みを期待するが、足らざる部分を国・県・町を含めた公的支援で支えなければと思っています。

町長 農用地の区域内開発には知事の許可が必要となる。現在のところ開発計画がないので区域除外手続きはできていない。

町長 22年度より簡易公会計を実施している。2名の職員が担当している。

町長 2020年度までに小中併設校または小中一貫校とする計画を進めている。町教委は、今後教育委員会内で話し合いを重ね、年度内にどちらを選択するかを決めるとあるが。

最近の経済状況を見ましても、企業誘致も一朝一夕に進まないことは百も承知です。しかし、各自治体でも首長、職員との取り組みの姿勢がちがいます。

隣の五城目町では、都内に専従職員をはりつけ、情報交換の場を確保していま

すが、本町ではどのような対策を講じておるか示して下さい。

また、スクールバスへの混乗導入を提案します。

活性について。町長の公約にありま

す商店街活性化について、町として今後どのような施策を考え対策を講じようとしているかお示し下さい。

農業者、また八郎潟東京ふるさと会員等より情報を得ている。

「小、中学校の「併設」「一貫教育」の年度内決定について

町長 農業者、また八郎潟東京ふるさと会員等より情報を得ている。

「小、中学校の「併設」「一貫教育」の年度内決定について

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

五城目、面潟線のバス路線廃止が来年3月に決定しておりますが、町民の足の確保にどのように試案をしているか。

一 般 質 問

産業振興は、農・商工一体で



村井 剛
議員

問 町長は、2期目の公約の柱に産業振興を掲げ、商店街の活性化に取り組むとしている。

町民の購買力を高め、町外からの交流人口を増やすには、魅力ある商品・特産品が必要である。

観光資源としての願人踊や一日市盆踊りも、産業振興と結びつける工夫が必要である。

商店街の活性化は、農・商工一体で取り組むことが重要である。

また、高齢化の進行により、買い物難民と言う新たな課題も提起されており、複合的な対策が必要である。

町長 国では、農・商工連携と合わせ、農業者の第6次産業化をも推進しており、きわめて重要なことと考えている。

町では、これまでの事

業を検証し、有効な事業は継続する。また、「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」において、商店街の活性化や産業振興につながる事業をも検討している。関連性をもたせ、充分留意し対処する。

八中創立50周年を迎えての、本町教育の振興策を問う

問 本町教育委員会では、八小の校舎の老朽化と児童数の減少への対応策として、「小中併設校」か「小中一貫教育校」にするかを検討している。

折しも、来年度は八郎瀉中学校創立50周年を迎える。

本町教育の更なる充実発展を願い、次の事項を問う。

- ① 併設・一貫教育校のいずれの方向か。
- ② 幼小中各一校における本町教育の特徴は。
- ③ 八中創立50周年に関する記念事業の内容は。

教育長

① これまで4校を視察し、研修を重ねて来た。今後、議論を重ね総括し、3月議会には考え方を示す。また、中教審における小中連携・一貫教育に関する意見に変化がみられ、本町の幼保小・小中連携教育を進展させ、メリツトの大きい方を重視する。

② 各学年の実態把握が容易で、個に応じた指導ができる。しかし、同じメンバーによる相互の力関係や序列化等が長く続くので、園・小・小々中への引き継ぎの中で実態を把握し対処している。また、スポ少から部活への加入変化で解消されている部分もある。

③ PTAとの合同役員会議の素案で、記念式典・記念講演会・記念誌発行・記念運動部招待試合等を考えている。

戸村土地改良区上横止頭首工改修工事への特段の支援を

問 現在の上横止頭首工は、築造以来50年を経過し、老朽化が著しい。今日の特徴の降雨強度の高さは、建設当時は想定されておらず、決壊の恐れがあると判定されている。治水及び防災上からも早急な改修がせまられている。

土地改良区では、農業用河川工作物応急対策事業による改修工事を計画している。

五城目町との連携による特段の支援を願う。

町長 先般、土地改良区より要望書の提出があり、県営事業による改修工事は承知している。支援内容は、地元負担分の2分の1の補助であった。来年度から2

ケ年で実施する調査計画費については、五城目町と協議中であるが、要望額を両町で負担する方向で調整中である。



上横止頭首工（五城目第一中学校南側）

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

て順次運用を開始する。

ため判明したものである。

問 町職員育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、当町に該当する職員はいるのか。

答 現段階ではいませ
ん。地方公務員法育児休
業等に関する法律が改正
された事に伴い一部を改
正するものである。

問 秋田県町村電算シス
テム共同事業組合の設立
について、電算システム
の共同化により削減され
る経費の内容は。

答 利用料の削減見込み
として、既存システム運
用費10%に当たる約90
0万円の経費削減が見込
まれる。また運用時期に
ついては、現在導入して
いるリース期間満了後の
平成26年から29年にか

問 歳出の徴税費におけ
る委託料の追加につい
て、19年の地籍調査の成
果を見直すための経費で
あるとのことだが、見直
しをしなければならな
い、と判ったのはいつの
時点か。

答 今年10月に土地の地
権者から地積及び地図訂
正の申し出が文書であつ

問 教育委員会関係の
「あきたっ子グローバル
びじょん」小中学校費の
講師謝礼について、講師
は誰なのか。

答 A I A秋田県国際交
流協会を通じて県内に留
学されている複数ヶ国の
外国人学生を予定してい
る。

民生産業 常任委員会

問 医療費負担が高額に
推移しており、若い人の
医療費も増大している
との説明があったが、何か
対策はあるのか。

答 健康対策について
は、町の広報にも掲載し
たり、町の事業や町内会
でも講習会など行ってい
る。今後は国保加入者以
外の40〜50代の方も視野
に入れた受診勧奨などを
通し、健康への意識の高
揚を図る必要があると思
われる。

問 農業体質強化基盤促
進事業補助金の補助内容
は。

答 区画拡大が10a当た
り10万円で、暗渠整備が
10a当たり15万円となつ
ており、暗渠は標準間隔
10mで、自力施工も補助
対象となっている。

平成25年度事業とし
て、区画拡大が、2、2
00aで2千200万
円、暗渠整備が5、40



0aで8千100万円で
要望していたが、このう
ちの暗渠8千100万円
の70%の5千600万円
が国の今年度の予備費を
充用しての事業実施とな
り、今回の補正計上とな
った。最終的には繰越事
業となる。

問 暗渠の施工規格基準
はあるのか。なければ町
として基準を設けるべき
で、その対象面積は。

答 町としての基準はな
い。国が示した標準的
な基準に準じている。

問 浄水場フロキユレ
ーターの工事は入札で行
っているのか。また、送水
管布設替工事も入札か。
指名業者数はいくらか。

答 それぞれ入札により
発注している。フロキユ
レーター更新工事が9社
指名、送水管布設替工事
が6社指名となっている。

議 員 発 議

■ 八郎潟町議会委員会条例の一部を改正する条例について

— 委員会相互の公平性確保 —

議会改革特別委員会において、現在の委員会の各会計区分並びに議案審議等の観点から委員会構成を見直すこととして委員会名の変更及び所管する課名について改正したものである。

■ 八郎潟町議会広報発行に関する条例の一部を改正する条例について

— 日当廃止に伴う改正 —

議会改革特別委員会において、全議員交代制による議会広報の編集を行なうこととし、編集委員を前期、後期に分けるとともに、委員会名の変更及び費用弁償等の改正をしたものである。

平成24年 八郎潟町議会12月定例会提出議案

議案番号	議 案	結 果
発議第5号	八郎潟町議会委員会条例の一部を改正する条例について	全 員 可 決
発議第6号	八郎潟町議会広報発行に関する条例の一部を改正する条例について	全 員 可 決
議案第61号	平成24年度八郎潟町一般会計補正予算（第5号）の専決処分について	全 員 可 決
議案第62号	八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全 員 可 決
議案第63号	秋田県町村電算システム共同事業組合の設立について	全 員 可 決
議案第64号	平成24年度八郎潟町一般会計補正予算（第6号）について	全 員 可 決
議案第65号	平成24年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	全 員 可 決
議案第66号	平成24年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	全 員 可 決
議案第67号	平成24年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	全 員 可 決
議案第68号	平成24年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	全 員 可 決
議案第69号	平成24年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	全 員 可 決
議案第70号	平成24年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第2号）について	全 員 可 決
議案第71号	八郎潟町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	全 員 可 決

■ 請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
10	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	オスプレイの配備と秋田県上空での飛行撤回を求める陳情	総務教育	採 択
11	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県商工団体連合会 会長 小玉 正 憲	消費税増税の中止を求める陳情	総務教育	不採択
12	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	民生産業	採 択
13	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	民生産業	採 択
14	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏 明	「教育費無償化」の前進をもとめる陳情書	総務教育	不採択
15	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県ゆきとどいた教育をすすめる会 会長 沼田 敏 明	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情書	総務教育	不採択
16	平成24年10月18日	陳情	秋田市	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	国に、生活保護基準の引き下げをしないことを求める陳情書	民生産業	採 択
17	平成24年11月2日	陳情	男鹿市	連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会 議長 渡 部 仁 史	地域経済活性化と雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書採択に関する陳情書	総務教育	採 択



議会のうごき

10月

- 2日 秋田県町村議会議長理事会
- 2日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
- 11～12日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合視察研修(青森県五所川原市)
- 15日 秋田県町村議会議長理事会
- 15日 知事との行政懇談会
- 18日 例月出納検査(監査委員)
- 21日 産業・芸術文化祭(舞台発表)
- 25～26日 八郎湖周辺清掃事務組合視察研修(山形県新庄市)
- 27日 八郎潟小学校発表会
- 27日 産業・芸術文化祭(展示)

11月

- 2日 町表彰式
- 7日 男鹿・潟上・南秋支部総合防災訓練

- 13日 例月出納検査(監査委員)
- 13～14日 全国議長会(東京)
- 15日 南秋田郡町村議会議長会
- 19～20日 定期監査(監査委員)
- 28日 秋田県町村電算化に関する協定書締結式

12月

- 1日 八郎潟幼稚園発表会
- 4日 議会運営委員会
- 4日 議会広報編集委員会
- 10日 12月定例議会(～12日)
- 18日 例月出納検査(監査委員)
- 20日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 21日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 25日 議会広報編集委員会
- 26日 八郎湖周辺清掃事務組合議会

◆ 議会広報編集委員会
委員長 北 嶋 賢 子
副委員長 近 藤 文 人
委員 小 山 美 喜 雄
三 戸 留 吉

12月の衆議院総選挙で下された国民の審判は、いつの時も政治の結果責任であるという言葉を如実に表している。よく言われる説明責任とか周知徹底の裏には、相当の行動がともなうことを思い知らされた。自身にかえりみて、この4年間、伝えることをおろそかにしていませんか。伝えることを工夫してきただけでよかったですか。伝わらない原因はどこにあったのか、と。

広報委員会としても読まれやすさを目指しての改革が行われてきた。はたして町民のみならず、にどのように伝わっているのか。それらすべてを含め総括され、審判を受ける日は近い。

改選後の編集委員会は前期と後期の2年ずつになることが議会改革で決定している。より伝わりやすい議会だよりを目指して、新しい顔ぶれで3月議会だよりを発行することに期待していただきたいと思います。4年間大変お世話になりました。(かねみ)

伝えること

編集後記